

# 報 告 書

開 催 日 時	令和7年11月13日				19時00分 ～ 20時30分	
自治協議会名	上野西部地区住民自治協議会		開 催 場 所		上野西部地区市民センター	
出席議員	西口 和成、山下 典子、寺村 京子、陶山 美佐					
	班 長	陶山 美佐	記録・報告者		陶山 美佐	
参加人数	16 名					

## 【主な意見・提言等】

＜旧上野ふれあいプラザの今後について＞

- ・建物を解体するのか活用するのか、どの方向に進むのか。
- ・外観の老朽化が進み廃墟のように見えるので、早急に対応してほしい。
- ・高齢者が徒歩で買い物に行くことができるスーパーマーケットの要望等。
- ・だんじり会館として運用してほしい旨の要望等。

＜今後の対策＞

- ・建物を解体するのか活用するのかどの方向に進めるのかは、現在未定である。まずは市民の意見を収集していきたいと考えている。
- ・市長の方針として、有識者と市民を交えた「デザイン会議」を年度内に開催する予定である。

＜地域の担い手について（現状・今後/伝統行事・地域活動）＞

- ・コミュニティの巡行や行事の運営について、移動手段や負担の問題がある。
- ・高齢者が会合に参加する際、家族の送迎やマイクロバス利用が必要な場合もあり、参加しづらさがある。
- ・行事運営（巡行など）が本来業務と他の対応で圧迫され、優先順位に関する議論も生じている。
- ・地域の担い手不足は深刻で、次世代へどのように伝統行事や地域活動を継承するかが課題である。
- ・空き家が増加しており、高齢者の一人暮らしも増え、今後の安全見守り体制も心配である。
- ・天神祭りなど、少子高齢化により他町の応援がなければ行事が成り立たない現状である。
- ・空き地、空き家が増えている上野西町では、約14～18%の空き家率で、また他町も30%以上あると感じている。学校や保育園が近くにあり、住みたいと考える人が一定

数いるという声もあるが、空き家活用や移住促進策など、市議会においてどの程度検討され議論されているのか。

- ・ 空き家の放置が続けば空き地化し、樹木の繁茂などは、消防法上の問題にも発展するため早期の対策をとってほしい。
- ・ 空き家対策について、廃墟化してからでなく、活用可能な段階で不動産事業者や民間団体と連携し対策を進めてほしい。
- ・ 土地や住宅の売買マッチングについて、民間主体が基本であるが、他自治体では行政が関与することで、売り手買い手の安心感を高めている事例もある、その様な仕組みも検討してほしい。
- ・ 上野忍町、上野鉄砲町、上野福居町など、新築住宅が建設されて新たに居住者の流入が進んでいる地域もある。条件を整えば人口増加は可能であると考える。
- ・ 景観への配慮が必要な区域において、長屋跡地を住宅地に転換する際の制約などがある。もっと柔軟な運用の方法があるのではないかな。
- ・ 浄化槽の問題もあり、城下町は建替えや新築の際、建物内部に浄化槽や駐車場を組み込む方法があるが、費用や施工が難しく現実的に進めにくい。

伊賀市議会議長 様

令和7年12月19日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 2 班

班長 陶山 美佐 \_\_\_\_\_